

# 被覆肥料のプラスチック流出防止

- 被覆肥料は追肥作業を省略できるほか、収量・品質の向上、化学肥料の利用効率向上および温室効果ガス（亜酸化窒素）抑制などに貢献し続けている。
- 一方、溶出後の被覆殻（プラスチック）の水系への流出が問題となっており、被覆殻の流出防止を講じることと代替施肥への取り組みが求められている。
- ・持続可能な環境調和型農業への貢献： 脱プラスチック
- ・生産者に与える影響： 環境保全、その他

## ◆ 被覆殻の流出防止



### 浅水代かき (強制落水の防止)

被覆殻の浮上による流出を防止します。土壌を酸化的に保ち、健全な根系になります。



### 無落水田植え

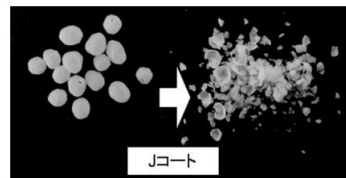
直進アシスト/キープ田植機で実施。水管理も省力化できます。



### 水尻の流出防止対策

やむを得ず強制落水する場合に使用します。同時に藁も上げるので異常還元を回避できます

## ◆ 代替施肥法



### 緩効性ペースト肥料の二段施肥

品種、気候、地力によって追肥も検討します



### 被覆殻のプラスチック割合を削減した肥料

Jコートプラ使用割合は従来比▲20~40%  
溶出後、崩壊しやすく水に浮きにくい



### 化学合成緩効性肥料

土壤中で水や微生物によって徐々に分解されて肥効を示します。品種、気候、地力によって適用性が異なります



### 流し込み施肥

粒状、液状の両タイプがあります  
圃場の形状や水量に留意します



### ドローン施肥

専用の肥料が販売されています